

民主クラブ

代表 西野 茂樹 ・ 副代表 小山 征三
 幹事長 松尾 省勝 ・ 副幹事長 岩田 薫

一般質問

- 1 政治姿勢
 - (1)公文書管理について
 - (2)カジノを含む統合型リゾートについて
 - (3)指定管理者制度について
- 2 事件・事故対策
 - (1)防犯カメラの設置促進について
 - (2)防災ラジオなどの利活用について



小山 征三 議員
<http://www.tomakomai.or.jp/koyama/>

★統一地方選挙で住民投票を

IR整備法案は、認定申請を行う道議会の議決と立地市町村の同意を要件としていることから「民意反映、住民との合意形成」の手法として、来春の統一地方選挙に併せて住民投票を行うことを提案しました。岩倉市長は「住民投票はなじまない」と否定的でしたが、今後住民投票を求めていきます。

★秘密文書の規定改正へ

苫小牧市文書事務取扱規程には、秘密文書が規定されていますが具体的に何を秘密文書とするなど定義はなく、全ての公文書を秘密文書とできることから改正を求めました。市側は、規程の改正を視野に調査すると答弁しました。

一般質問

- 1 交通政策
 - (1)ライドシェアでの市民の安全性について
 - (2)地域公共交通網形成計画策定について
- 2 福祉政策
 - (1)地域福祉の増進について



松尾 省勝 議員
<http://m-matsuo.jimdo.com/>

★深刻な運転士不足への早期対応を！

私たちを取り巻く市内の公共交通環境については、非常に厳しい環境におかれています。従来路線維持では、利用者減少に歯止めが掛からないことと同時に、従事する人員の確保ができないことによる労働環境の悪化が懸念されているなど、課題が深刻化しています。

私は、将来を見据えた「地域公共交通網形成計画」を早期に策定し、市民の足を守るため、運行の効率化と人員不足の解消を進めるよう求めました。

市側は、2020年を目途に計画策定を進めると答弁しました。

一般質問

- 1 政治姿勢
 - (1)JR北海道について
- 2 緑ヶ丘運動公園
 - (1)全体計画について
 - (2)合宿誘致について
- 3 第3次環境基本計画
 - (1)ごみ減量化について
 - (2)リサイクルについて
 - (3)不法投棄について



岩田 薫 議員

★JR北海道問題では、市側は1市4町の存続に対する基本姿勢に

変わりが無いことと、室蘭線沿線自治体との協議も、JRに対し存続を求めるとの答弁がありました。

★緑ヶ丘運動公園のリニューアルが終了したことから、新たな整備計画を求めたことに対し、市側は公園全体の利用方法など全体計画を策定すると答弁がありました。また、施設整備や、交通の利便性などから合宿誘致を強めるべきとしたのに対し、関係団体と連携し誘致活動を強化するとしました。

★第3次環境基本計画の中で、10年目を迎えたゼロごみ大作戦は、新たな施策で、減量化と、リサイクルを旨指すと答えました。

議会改革検討会

西野 茂樹 議員

★議会基本条例の素案まとまる
 平成29年度から検討、協議を重ねてきた議会基本条例が、6月議会で正副議長案を踏まえた上で、議会改革検討会で素案として、決定することとなりました。

今後は、条例成文や、逐条解説を整理したうえで、市民へのパブリックコメントの手続きに入ることとなります。

私たちは会派は、いくつかの提案をして協議に臨んできました。

特に、政策形成能力に欠かせぬ議会事務局の法務機能の強化、スタッフの配置については、会派の重点課題として今後、取り組んでいくこととしました。

